

名護市営球場整備関連視察報告

視察日 令和2年2月5日～7日

視察者 無会派・大迫彰

公明党・木村真千子、藤田豊

名護市 大城秀樹議長

議会事務局 新垣次長、上地係長

建設部都市計画課 桃原技官

金城商工会会長

視察目的

市営球場のリニューアルの整備・経過及び運営について

名護商工会議所会長と北広島市と民間交流について懇談

視察報告

名護市営球場は、日本ハムファイターズがキャンプ地として長年使用してきたが、建設が40年経過し極度の老朽化が目立ちはじめ、今後の球場運営に支障をきたしてため建て替えリニューアルを検討。

平成28年度に実施計画、平成30年度工事着工し、平成31年度完成

事業費 45.6億円

社会資本整備総合交付金(補助率50%)を活用

リニューアル後は、日本ハムのキャンプ地として再度利用がはじまり、名護市の経済にも大きく貢献している。

運営について

・球場周辺誘導等ボランティア

日本ハム側が手配するボランティアと、名護市側が手配するボランティアがいる。すべて有償ボランティア。

・敷地内売店等

敷地内は4店舗のみ。4店舗は名護市が常時設営許可をだしている。常設店舗代を名護市に収めている。イベント開催時に4店舗以上にするかどうかは、そのイベント開催主体者が判断する。

・下水

旧球場MAX定員4千人。新球場MAX定員7300人。特別な措置を取らず、都度使用に対し下水へ流している。一旦貯留槽に溜めてチョットづつ流していく

することはしていない。

・路上駐車対策

現在はキャンプのみであったため、違法路上駐車は発生していない。球場駐車場のほか、漁港敷地を臨時駐車場とし、シャトルバスを運行している。

しかし、巨人とのオープン戦が予定されていることから、路上駐車が取れだけ出るかが予想つかない。臨時駐車場の拡大も協議していく。

名護商工会会長との懇談会

北広島市に日ハムボールパークの建設が決まり、本年の日ハムキャンプに上野市長が差し入れをもって行くことになったことにより、交流都市として繋がることができるようにできないか懇談。

行政同士の交流はすぐにはできないので、まずは北広島商工会と名護市商工会が交流を持ってもらう。名護市商工会会長からは前向きなお話をいただいた。

